



今年度で4回目を迎えた「ウッドデザイン賞」は、木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための表彰制度です。

今年度の「ウッドデザイン賞2018」には、393点の応募があり、189点がウッドデザイン賞を受賞。さらに最終審査が行われ、最優秀賞（農林水産大臣賞）、優秀賞（林野庁長官賞）、奨励賞（審査委員長賞）に計25点を選出されました。

最優秀賞を受賞した「江東区立有明西学園」は、都市部での大規模な学校施設の木構造化・木質化の実現と、地域産業の伝承・感性教育を融合させた質の高い施設作りが高く評価されました。

さらに、今年度は、日本の木の文化を生かした施設・空間、木製品、活動などで「おもてなし」の取り組みにつながる作品を対象とした「木のおもてなし賞（特別賞）」を新設。「斗組テーブル」など3点が選ばれました。

これらの受賞作品は、公式Webサイトに掲載するとともに、展示会での作品の展示やメディアなどと連携し、積極的なPR活動を行っています。

最優秀賞（農林水産大臣賞）

江東区立有明西学園 株式会社竹中工務店、江東区、株式会社久米設計（東京都）



都市部では難しい大規模な学校施設の木構造化、木質化を実現。木の回廊には、世界のあいさつや偉人の名言が焼き印のように刻まれ、生徒の自発的な学びを促している

優秀賞

デジタルファブリケーションによる
自律分散型生産ネットワーク
VUILD株式会社（神奈川県）



デジタル加工機の普及、設計ひな型の共有などを通じ、全国各地で地域材を使った付加価値の高い製品作りができるシステムを構築

優秀賞

odai

宮川森林組合（三重県）



広葉樹を活用した食品やアロマ雑貨などの商品群。デザイン性の高い多彩なラインナップで地域材の魅力を伝える

優秀賞

改質リグニンを利用した3Dプリンター用
基材の開発と造形試作への展開
ネオマテリア株式会社
京都工芸繊維大学（京都府）



次世代ものづくりの技術である3Dプリンター用基材に木材由来の新素材「改質リグニン」を活用。木質バイオマスの需要創出につながる

特別賞（木のおもてなし賞）

斗組テーブル

有限会社守屋建具店（岡山県）



公共施設やオフィスなどで使用できるビッグサイズのテーブル。斗組という伝統建築技法を用いた、耐久性に優れ、美しい形が特徴的

Web サイトは
こちらから



「MAFF TOPICS」では、農林水産省からの最新ニュースなどを中心に、暮らしに役立つさまざまな情報をお届けいたします。 取材・文／丸山 こそえ

News 1 「ディスカバー農山漁村の宝」グランプリ決定



グランプリ

6次産業を通じた雇用機会の拡大 株式会社 もてぎプラザ

地元産米粉や卵を使ったパウムクーヘンなどを販売。事業拡大により5年間で雇用者数が4名から34名に増加した



日本各地に埋もれている地域資源の力を引き出し、地域の活性化や所得向上に取り組み優良事例を選定する「ディスカバー農山漁村の宝」。平成30年11月の有識者懇談会において、32選定地区の中からグランプリおよび特別賞の計6地区が決定しました。

最高賞であるグランプリに輝いたのは、栃木県茂木町の株式会社もてぎプラザ。地元産素材を使った商品開発による地産地消の推進、

地域の雇用拡大への貢献などが高く評価されました。このほか、特別賞としてフレンドシップ賞、ジビエグルメ賞、チャレンジ賞、アクティブ賞、プロデュース賞が選ばれました。

受賞した6地区の取り組みは、「ディスカバー農山漁村の宝」特設Webサイトやインスタグラムで魅力たっぷりにお届けしています。また、32選定地区のおすすめの商品も紹介していますので、ぜひご覧ください。

フレンドシップ賞



畑ガイドツアーで十勝農業を発信
株式会社いただきますカンパニー
ガイドと畑を歩き、そこで採れたものを食べる体験ツアーを実施。定年退職者や主婦がガイドとして活躍している

ジビエグルメ賞



ごっつお まいぞお のとしし大作戦
合同会社のとしし団
獣肉加工施設を整備し、捕獲したイノシシを地域資源として活用。ふるさと納税の返礼品としても高評価を受けている

チャレンジ賞



村のゆずから JAPON の「YUZU」へ
北川村ゆず輸出促進協議会
世界初となるEUへの「青果ゆず」の輸出を開始。生産者の意欲が高まり、ゆず専業を目指す若手農家も増えた

アクティブ賞



女性が輝く！女性だけの農業法人
ウーマンメイク株式会社
子連れ出勤も可能な柔軟な勤務形態で、レタス栽培に取り組む。女性目線で開発した独自ブランドを全国展開

プロデュース賞



新丹波ブランド 丹波なた豆茶を世界に発信
有限会社こやま園
地元の伝統作物「なた豆」を自社で栽培・加工し「なた豆茶」として販売。香港やベトナムへの輸出も行っている

特設 Web サイトは
こちらから



インスタグラムは
こちらから



読者の声

読者の皆さまから寄せられた「aff(あふ)」12月号へのご意見・ご感想を紹介します。

特集「日本酒」は、日本酒の基礎知識や酒米生産者、伝統的な酒造り方法、酒の味に合う肴など、各段階の苦勞が分かり、素晴らしい写真とともに好感が持てました。さらに、木杣の木曾ヒノキの香りまで紹介しており、日本酒が大好きな者にとっては大変嬉しい限りです。
(60代以上・男性)

日本人と日本酒文化は、切っても切れないと思うので、もっと掘り下げた内容のものも記事にしていけたら面白いと思います。
(50代・男性)

甘酒にも種類があることが分かり、勉強になりました。フルーツなどと組み合わせることで、上手においしく生活に取り入れたいと思います。
(30代・女性)

目からウロコだったのが、「MAFF TOPICS」の「酒の漢字の部首がミ(サズイ)でない」ということです。「酉(ヒヨミノトリ)」という言葉も初めて聞いたように思います。
(40代・女性)

福井県大野市と勝山市は仕事でよく行きました。初めて上庄^{かみしょう}の里芋を食べたとき、あまりのおいしさにおかわりをしたことを思い出しました。天龍源一郎さんのお弁当の里芋レシピを参考に、一度作ってみたいと思います。
(50代・男性)

感想をお聞かせください

今後もよりよい広報誌とするため、読者アンケートにご協力ください。農林水産省 Web サイト「aff(あふ)」のページから回答できます。



○編集・発行 農林水産省大臣官房広報評価課広報室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL.03-3502-8111(代表) FAX.03-3502-8766

○編集協力 株式会社文化工房
〒106-0032 港区六本木5-10-31 矢口ビル4F
TEL.03-5770-7114(代表) FAX.03-5770-7132
編集/中村麻由美 小尾悠梨子 糸瀬早紀
藤田紫系 小竹結女 伊藤高 小野沢啓子 三邊晶子
アートディレクション/釜内由紀江
デザイン/石川幸彦 清水桂

News 4

花を通じて四季を感じる



花、葉、枝などの植物を美しく造形することをフラワーデザインといいます。その日本一を決める公募展「日本フラワーデザイン大賞2019」が2月23、24日の両日、京都市勧業館(みやこめっせ)で開催されます。コンテストは、アレンジメント、プライダルブルー、花束など計6部門。会場には一次審査を通過した作品が展示され、出展者の感性によって引き出された植物の新たな魅力を感じることができま

※写真はすべて前回(2017年)のものです。

日本フラワーデザイン大賞 2019

日時: 2月23日(土) 10時~19時
2月24日(日) 10時~17時
場所: 京都市勧業館(みやこめっせ) 第2展示場
入場料: 1,200円(当日) 1,000円(前売り)

〈同時開催〉2月24日(日) 第14回 NFD全国高校生フラワーデザインコンテスト
主催: 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会(略称: NFD)

詳しくはこちら



クイズの答え

とろみ剤

飲み込む力が衰えた人でも安心して飲食できるように使われています。喉を流れる速さが遅くなり、誤嚥防止につながるためです。

そのとろみ剤がボタンを押すだけで加えられる自動販売機が登場しました。好きなカップ入り飲料にとろみづけができ、病院や介護施設などで導入されています。



News 3 日本の農林水産物・食品を世界へ

農林水産省は、農林水産物や食品の輸出に意欲的に取り組む生産者や事業者、輸出に関わりのある流通業者などを対象に支援する「GFPコミュニティサイト」を開設しました。

サイトからGFPに登録すると、無料で農林水産省による「輸出の可能性」の診断を受けられます。診断は、サイトに登録した生産者や事業者への視察・ヒアリングに基づいて実施。出荷量や農薬の使用など産地の状況を踏まえ、レポートを提供します。レポートには、対象となる生産物の日本からの輸出状況、輸出のための商談に役立つ情報などが盛り込まれており、そのデータを元に最適なサポートを受けることができます。

さらに、登録者同士の交流促進、海外の規制やニーズに関するタイムリーな情報提供、輸出のためのマッチングサポートなど、行う支援もさまざま。

農林水産物・食品の輸出は、生産量増加による食料自給率の向上や新規就農者のモチベーションアップにつながります。GFPを通じて、生産者、売り手、政府が一丸となって日本ブランドを世界へ発信していきます。



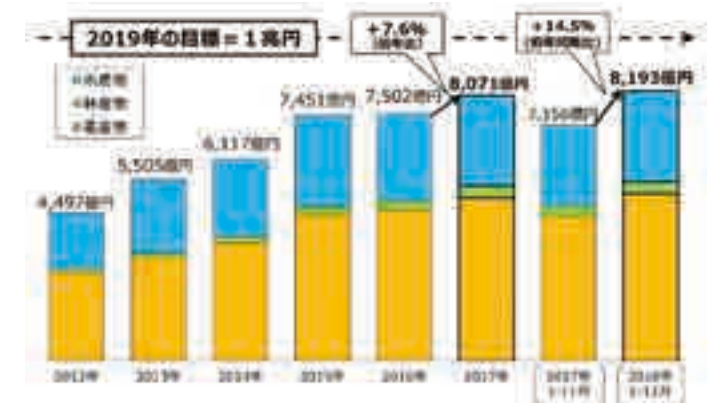
GFP ってなに?

Global Farmers Project
Fishermen Foresters Food Manufacturers

「日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト」

のことを表します

農林水産物・食品の輸出額の推移



出典: 財務省「貿易統計」をもとに農林水産省作成

GFP登録者に提供されるサービス



交流イベントを通じた、新たな販売商品を求める海外の事業者と国内の生産者・製造事業者とのマッチング



輸出を目指す生産者で作ったグループに対し、産地形成に必要な輸出計画策定のための支援



海外市場に輸出する際の規制や規格認証、政府の支援策などの情報の提供



農林水産省が行う「輸出の可能性」の診断

訪問診断の様子

農林水産省、ジェトロの職員が全力でサポートします!!



いちご農家を訪問し、グローバルGAPを取得するための情報を提供

野菜を加工する施設でヒアリングを行い、海外マーケットのニーズなどの情報を提供



GFP

農林水産物・食品輸出プロジェクト

GFPコミュニティ
サイトはこちら

